



以上のような機会にしたいと考えていたところ、ご縁があって、現在、明治大学の後輩で国会議員をしている方の事務所に勤務しています。彼は、人柄は温厚で誠実、政治に対して非常に真面目、日常活動は激務。

場所をかえて南泉州地域を別の角度からみる機会であり、加えて与野党伯仲国会で、より幅広く国民の声が国政に届くタイミングと重なり、この短期間でも、幾つかの市民相談が具体的に進展するなど、たいへん貴重な経験をしています。2025夏は、衆・参とも与野党伯仲国会となり、今後、激動の国政を、現場でしっかりと経験して参ります。

また、彼は政党の大阪府代表でもあるので、経団連会長や関西経済同友会代表幹事等々との意見交換や18の海外領事館や30数か所ある国の出先機関（近畿地方整備局など）との調整など、私自身府議では日常的にお会いしなかった方々と意見交換をする機会を得ています。

地域的には堺市ということもあり、広域行政や重層的な自治会組織による住民自治、そこで行われている先進的な取り組みを学ぶ機会にもなっています。

早朝の駅頭や座談会、一軒一軒のご訪問など、国民のみなさんの声を聞かせて頂き、個別対応や政策に仕上げる作業など、まだ数か月の勤務ではありますが充実した日々を送っています。

休日は、阪南市等で報告書配布や声を聴かせて頂く活動をゆっくりと続けています。



## 与野党伯仲国会で、今までと違うなと感じることは？

国会議員の事務所で、与野党伯仲国会をまさに経験しています。過去との違いを代議士から聞いていると、与党過半数時代は、党議拘束もあり、閣議決定イコール国会の決定で、国会審議は非常に疎か。しかし、与野党伯仲国会では、いくら閣議決定をしても、国会で数が足りず、国会審議が重要。予算や議案の修正は、**国民の目に見える形で、国会で修正**される。しかも、**幅広く国民の声が反映される状況**。地元（堺）では、事務所を通じた市民の声も、実現が早い。例えば、**片側3車線という非常に大きな道路の交差点改良も、アツという間に取り組み、驚きの連続。**



## 明治大学の後輩で国会議員との関係は？



私が阪南市議時代の当時30歳、堺市議（現国会議員）だった森山氏と出会った。フィリピンのイフガオ州で知事選挙があり、世界最年少知事の誕生かとなり、「見に行こう！」と現地へ。元NHKの方が通訳で、相模原市議の寺崎氏（現神奈川県議）や泉健太氏、神戸市議の井坂氏（現国会議員）、当時全員が無所属で政治の世界に入ったばかりの方々と。森山氏とは、府議会の当選同期で、一緒に会派を立上げ。彼は、堺市長選を経て国へ。私は、府議会に残り、その後、維新立上げ、辞めて再び無所属へ。去年の市長選後、事務所でお世話になることに。



## 最近の関心ごとは？



**SNS選挙**です。最近の選挙結果に対する違和感のひとつです。

ネット上の情報を自分で取捨選択しているつもりでも、いつのまにかネット上のアルゴリズムで、特定の情報を見せられ、世論が操作されている。収益目的で、海外の世論操作に無意識に加わってしまう。意図的に、他国の世論を操作する等々が、起こっているようです。新聞でも、ある国の選挙は外国勢に乗っ取られていた等、小さな記事ですが、最近、目にもします。

陰謀論的でどうかなと思っていたのですが、国でも規制強化に乗り出すとのこと（左上、読売新聞20250730トップ記事）。『ポピュリズムの仕掛人—SNSで選挙はどのように操られているか・白水社』にも詳しく。最近の関心ごと。

